



近畿の果樹

近畿農政局園芸特産課

平成24年1月

1. 生産(栽培面積)の動向

○近畿の主要果樹の栽培面積は、全国の約12%(2.8万ha:平成23年産)を占めており、このうち和歌山県が近畿全体の7割を占めています。

近畿の主要果樹の栽培面積を品目別にみると、うんしゅうみかんが3割、うめが2割、かきが2割となっています。

◆主な果樹の栽培面積(平成23年産)

(単位:ha、%)

	みかん		ぶどう		もも	
		対全国比		対全国比		対全国比
全 国	48,000	100.0	18,800	100.0	10,800	100.0
近 畿	9,020	18.8	1,110	5.9	925	8.6
滋 賀	1	0.0	61	5.5	11	1.2
京 都	52	0.6	88	7.9	23	2.5
大 阪	776	8.6	454	40.9	42	4.5
兵 庫	176	2.0	290	26.1	43	4.6
奈 良	49	0.5	75	6.8	27	2.9
和 歌 山	7,960	88.2	144	13.0	779	84.2

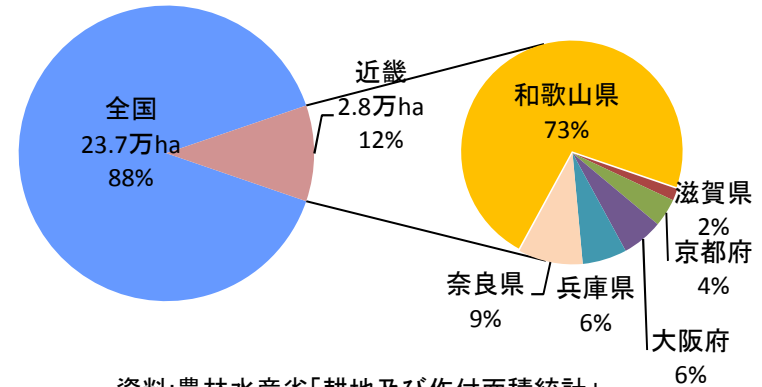
	うめ		かき		果樹合計	
		対全国比		対全国比		対全国比
全 国	17,700	100.0	23,000	100.0	236,932	100.0
近 畿	6,340	35.8	5,350	23.3	27,943	11.8
滋 賀	75	1.2	163	3.0	480	1.7
京 都	88	1.4	215	4.0	1,122	4.0
大 阪	46	0.7	65	1.2	1,646	5.9
兵 庫	138	2.2	209	3.9	1,790	6.4
奈 良	369	5.8	1,870	35.0	2,622	9.4
和 歌 山	5,620	88.6	2,820	52.7	20,271	72.5

資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計(平成23年)」

注1:果樹合計は指定果樹13品目を積み上げたもの。

注2:各県の構成比は、対近畿比である。

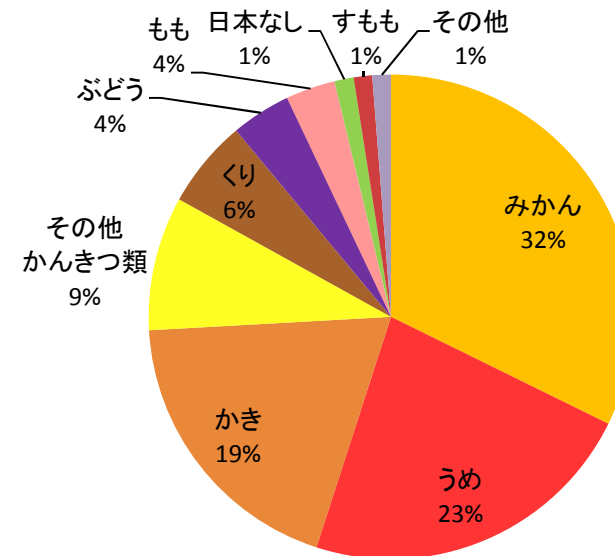
◆平成23年産主要果樹の栽培面積



資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注:政令指定果樹13品目の計。

◆主要果樹の品目別栽培面積割合(近畿)



資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計」

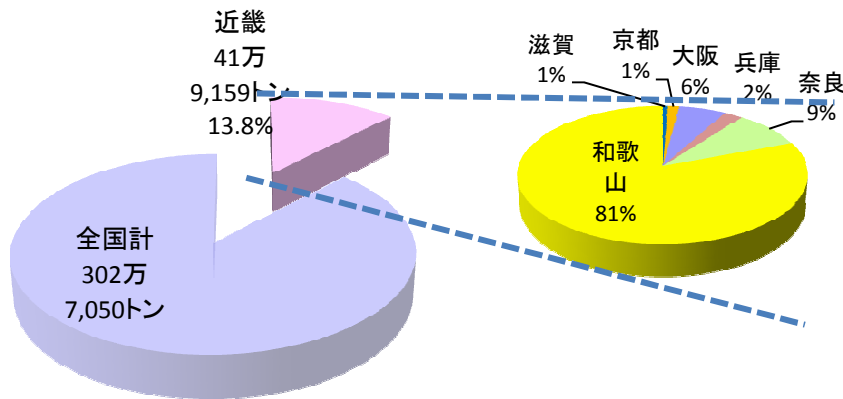
2. 生産(収穫量)の動向

○近畿の主要果樹の収穫量は、全国の約14%(41万トン:平成21年産)を占めており、中でもうめの収穫量は、全国の6割以上となっています。

○また、府県別に見ると、和歌山のうんしゅうみかん、うめ、かきが全国1位、奈良のかきが全国2位、和歌山のすももが全国3位となっています。

○また、大消費地に近い近畿地域ではいちじくの栽培が盛んで、和歌山や兵庫をはじめ、近畿全体で全国の収穫量の約4割を占めています。

◆主要果樹の収穫量(21年産)



資料:農林水産省統計部「果樹生産出荷統計」
注)政令指定果樹13品目のうちパインアップル及びその他かんきつを除く品目の計。

◆果樹収穫量全国ランキング(平成22年産)

うんしゅうみかん 全国785,000t		
順位	府県名	収穫量
1位	和歌山	152,300
2位	愛媛	115,600
3位	静岡	106,100

かき 全国189,400t		
順位	府県名	収穫量
1位	和歌山	35,400
2位	奈良	22,300
3位	福岡	14,900

すもも 全国20,900t		
順位	府県名	収穫量
1位	山梨	6,580
2位	長野	2,930
3位	和歌山	2,310

うめ 全国92,400t		
順位	府県名	収穫量
1位	和歌山	56,500
2位	群馬	5,660
3位	山梨	1,830

いちじく 全国14,957t 近畿 5,845t		
順位	府県名	収穫量
1位	愛知	2,903
2位	和歌山	2,231
3位	福岡	1,336

資料:みかん、かき、すもも、うめは、農林水産省統計部「果樹生産出荷統計」
いちじくは、農林水産省園芸作物課「特産果樹生産動態等調査」
(平成21年産)

3. 果実の農業産出額

○近畿における平成21年の果実の農業産出額は、690億円で、全国の10%を占めています。また、近畿の農業産出額全体に占める果実の割合は15.8%と全国の8.4%に比べて高くなっています。

○品目別に見ると、近畿の全国シェアは、うめやはっさくでは6割、かきは3割となっています。

○府県別にみると、和歌山が520億円(全国2位)と近畿全体の75%を占め、次いで奈良が65億円(近畿シェア9.4%)、大阪54億円(同7.8%)等となっています。

◆ 主要部門別農業産出額(平成21年)

(単位:億円、%)

区分	全国	構成比	近畿	構成比	近畿の全国シェア
米	18,044	21.7	1,217	27.8	6.7
野菜	20,876	25.1	1,130	25.8	5.4
果実	6,984	8.4	690	15.8	9.9
畜産	26,371	31.7	865	19.8	3.3
花き	3,506	4.2	186	4.2	5.3
その他	7,381	8.9	291	6.6	3.9
合計	83,162	100.0	4,379	100.0	5.3

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

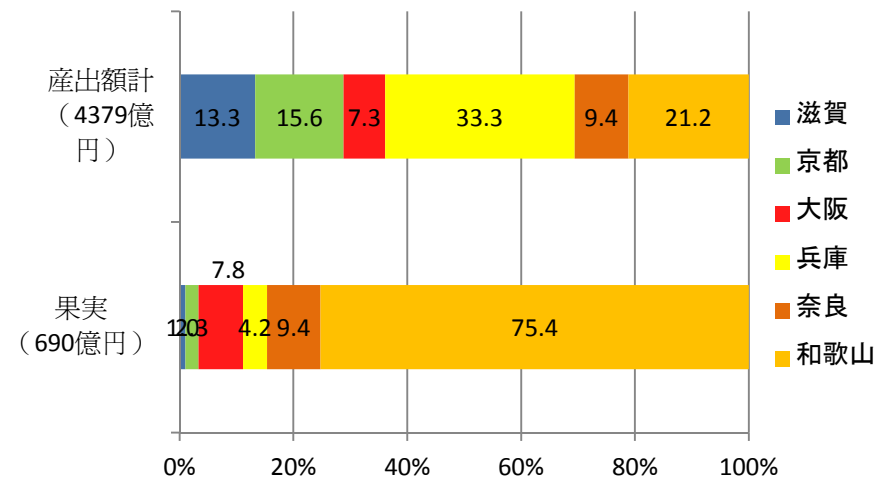
◆ 主な果実の品目別農業産出額ランキング(平成21年)

(単位:億円)

区分	全国	近畿	近畿の全国シェア	主な産地(※○数字は全国順位)			
みかん	1,292	200	15.5	①愛媛	②和歌山	③静岡	
うめ	226	137	60.6	①和歌山	②群馬	③神奈川	⑥奈良
かき	358	125	34.9	①和歌山	②奈良	③福岡	
ぶどう	1,006	60	6.0	①山梨	②長野	③岡山	⑥大阪
もも	454	48	10.6	①山梨	②福島	③和歌山	
はっさく	43	28	65.1	①和歌山	②広島	③愛媛	⑦奈良
いちじく	78	20	25.6	①愛知	②福岡	③和歌山	④兵庫
すもも	67	8	11.9	①山梨	②長野	③和歌山	
キウイフルーツ	92	10	10.9	①愛媛	②福岡	③和歌山	

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

◆ 農業産出額の府県別割合(近畿)



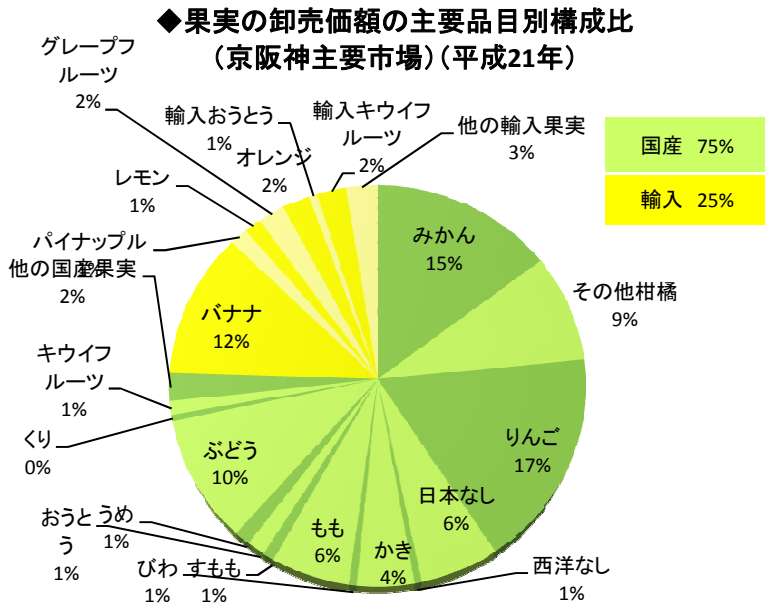
資料:農林水産省「生産農業所得統計」

4. 流通・消費の動向

○平成21年(1月～12月)の京阪神主要市場における主な国産果実の卸売数量は約30万トンでほぼ前年並み、主な輸入果実については、約14万トンで前年を6%上回りましたが、その中でも輸入果実全体の60%近くを占めるバナナが前年より14%増加しました。

○また、卸売価格は国産果実、輸入果実とも近年低下傾向にあります。

○また、京阪神主要市場の果実の取扱金額は約1,020億円であり、構成比では国産果実が75%、輸入果実が25%となっています。



◆ 主な果実の卸売数量及び卸売価格の推移(京阪神主要市場)

(単位:トン、%、円/kg)

区分	卸売数量				卸売価格			
	19	20	21	前年比	19	20	21	
国産果実	うんしゅうみかん	82,510	85,452	83,315	97	228	202	180
	なつみかん	5,915	5,861	6,555	112	187	138	136
	はっさく	5,812	5,665	5,292	93	194	140	152
	いよかん	10,103	10,565	9,580	91	211	143	173
	ネーブルオレンジ	690	816	778	95	219	155	155
	その他かんきつ類	15,278	17,585	19,064	108	374	287	286
	りんご	78,320	76,654	80,543	105	280	247	220
	ぶどう	15,654	14,994	14,494	97	767	718	717
	日本なし	22,995	25,660	24,997	97	326	246	243
	西洋なし	1,821	2,167	2,326	107	304	246	240
	もも	13,746	13,841	13,165	95	491	465	458
	おうとう	730	728	705	97	2181	2098	1995
	びわ	630	758	652	86	991	860	923
	かき	21,312	22,558	24,335	108	229	193	180
	くり	1,071	1,536	1,074	70	535	371	460
	うめ	3,523	3,672	3,488	95	291	343	355
	すもも	2,141	2,441	1,769	72	480	417	501
	キウイフルーツ	3,116	2,973	3,697	124	353	354	302
	その他国産果実	3,671	3,639	3,389	93	779	691	676
	計	289,038	297,565	299,218	101	316	274	258
輸入果実	バナナ	70,654	74,841	85,039	114	141	149	142
	パイナップル	10,558	9,626	10,026	104	154	159	147
	レモン	9,692	8,268	7,550	91	284	254	186
	グレープフルーツ	19,854	17,222	16,437	95	154	140	134
	オレンジ	12,447	14,237	13,265	93	226	164	169
	おうとう	707	627	740	118	1035	1068	911
	キウイフルーツ	5,024	5,030	5,504	109	428	425	434
	その他の輸入果実	6,294	5,315	5,106	96	557	565	503
	計	135,230	135,166	143,667	106	197	187	174

資料: 社団法人全国生鮮食料品流通情報センター「月刊青果物流通統計」

注1: 大津市、京都市、大阪府、神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、奈良市、和歌山市において開設されている青果物卸売市場における調査である。

資料: 社団法人全国生鮮食料品流通情報センター「月刊青果物流通統計」により近畿農政局で推計。
卸売価額 = 卸売数量 × 卸売価格の積み上げで計算。

5. 消費拡大

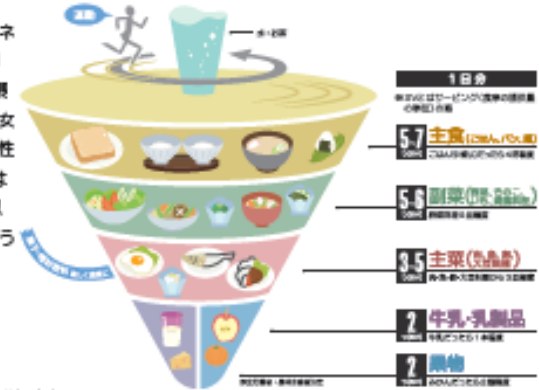
○平成13年度から「果物のある食生活推進全国協議会」(事務局(財)中央果実生産出荷安定基金協会)が中心となって、くだものを毎日の食生活に欠かせない品目として定着させるため、1人1日200g以上のくだものの摂取を勧める「毎日くだもの200グラム運動」を推進しています。また、18年度以降は食事バランスガイドを活用した食育活動と一体的に、消費拡大の取組を行っています。

○しかしながら、国民一人当たりの果実の摂取量は、113gと目標摂取量の200gに対しきわめて低い水準となっています。(平成21年国民健康・栄養調査)

食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？

*右のイラストは想定エネルギー2200±200kcal(基本形)です。果物の摂取目安量は、ほとんどの女性と身体活動量の低い男性(高齢者を含む)の場合は2つ、12歳以上69歳以下の男性で活動量がふつう以上の場合は2~3つです。



食事バランスガイドについて詳しくは
http://www.maff.go.jp/j/balance_guide/

【料理例】



◆ 果実類1日1人当たり摂取量の推移(全国)

(単位:g)

区分	S50	H2	7	12	17	18	19	20	21
全世代平均	193.5	124.8	133.0	117.4	125.7	98.9	111.6	116.8	113
1~6歳			122.7	91.9	119.4	92.7	109	99	102.8
7~14歳			131.5	104.3	119.8	90.5	95.0	97.8	109.6
15~19歳			131.8	96.3	113.3	110.5	85.1	80.3	91.9
20~29歳			90.2	75.0	83.0	59.3	77.0	71.8	72.2
30~39歳			96.4	76.5	70.6	55.1	66.3	70.4	61.4
40~49歳			135.6	95.2	86.1	69.2	71.3	75.9	76.5
50~59歳			165.0	143.6	137.3	90.2	125.7	122.8	121.3
60~69歳			172.1	168.2	170.8	145	161.9	157.9	157.1
70歳~			152.9	160	169.6	148.6	148.7	160.5	149.0

資料:厚生労働省「国民栄養調査」、「国民健康・栄養調査」

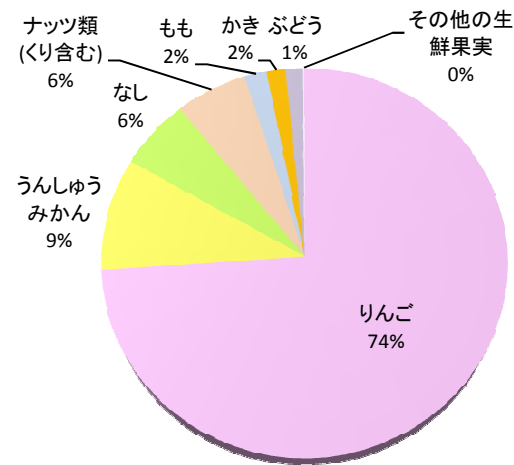
6. 近畿における果実の輸出の取組

○平成21年の果実の輸出については、品目別ではりんごが、国別では台湾が7割を占め最も多くなっています。

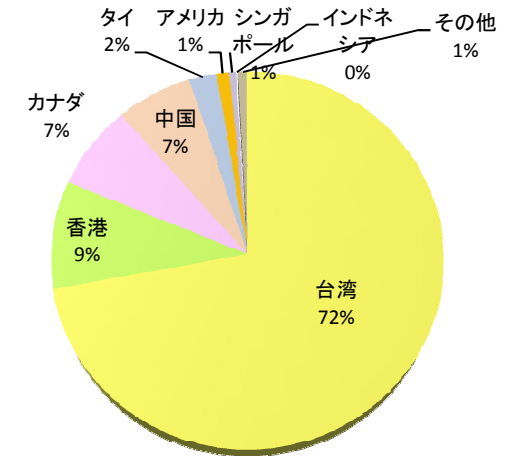
○和歌山県は平成12年から柿(香港、タイ)とみかん(カナダ、香港、台湾、サイパン、マレーシア)、平成17年からあんぼ柿(台湾、香港、マレーシア)、18年から桃(台湾)の輸出に取り組んでいます。

また、奈良県は、タイ、香港等に柿を輸出しています。

◆品目別輸出数量(全国:H21)



◆輸出相手国別輸出数量(全国:H21)



資料:財務省「貿易統計」

(単位:トン)

◆ 果実にかかる輸出の取組(近畿)

県名	産地(市町村)	品目	生産者	輸出主体	輸出先	備考			
						19年産	20年産	21年産	備考
兵庫県	—	—	—	—	—	—	—	—	*
奈良県	五條市	柿	奈良県農業協同組合(西吉野柿部会)	奈良県農業協同組合	タイ、香港	68	83	81	うちタイ向け81t、香港0.5t
和歌山県	紀の川市、かつらぎ町	桃	JA紀の里 JA紀北かわかみ	和歌山県果実生産出荷安定協議会(和歌山県農業共同組合連合会)	台湾他	52	80	56	うち台湾向け55t 21年度台湾向け登録梱包施設・5選果場
和歌山県	紀の川市、かつらぎ町	柿	JA紀の里 JA紀北かわかみ		香港、タイ他	32	37	31	12年産から香港、17年度から台湾19年度からタイ、マレーシア、シンガポールへの輸出を開始。 うち香港向け16.5t
和歌山県	紀の川市、かつらぎ町	あんぼ柿	JA紀の里 JA紀北かわかみ		台湾、香港、マレーシアほか	1.1	1.2	0.7	17年産から輸出開始。
和歌山県	有田市、有田川町、海南市	みかん	JAありだ JAながみね		カナダ、香港、台湾、サイパン、マレーシア	181	119	107	うちカナダ向け175t(19年産)、89t(20年産) 89t(21年産)日園連窓口

資料:府県からの報告等による。(平成22年8月現在)。

注:兵庫県:平成18年度はイベント用にいちじく等の輸出を行ったが19年度以降実績なし。

近畿の果樹マップ

